



手話サークル研究班



～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がることと、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。

手話に関われる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」ということが大切だと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいく「手話に学ぶ場所」だと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

☆2004年4月、9名のメンバーで発足。

☆神通研集会・分科会「手話サークル」の運営を担当。

☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

☆2009年12月現在、川崎2、横浜5、県域11 計18名で活動中!!

～ '09 神通研集会報告② ～

「サークルに規約・会則がありますか？
それに沿った活動がなされていますか？」

<第2グループ>

- ・会則はあると思うが確認していない。他の会員も意識していないと思う
- ・規定等はあると思うが、把握していない。自分は、学習が目的。仕事もあるので活動には参加していない
- ・講習会の終了が近づいたときに、講習会とサークルは違う旨の説明をしている
- ・4月の新会員入会時に説明している
- ・ろう者についての理解を深める等、ルールはある
- ・交流が大切という考え方はあるが、夜のサークルなのでなかなかできない
- ・学習がメインだが、交流を増やしていきたいと思う

～まとめ～

会則等、明文化してあるかどうかはわからないが、学習だけではなく、交流することを伝えているサークルが多い。

～ 定例会 '09/11/22 (日) ～

11/14～15に鬼怒川で開催された関東通研集会。山梨から「防災訓練に聴こえない人が参加したことで、地域の人たちが地面に書いて伝えるという方法もあることに気が付いてくれた」という報告がありました。災害時は、身近にあるものを活用するという発想は必要ですね。

また、来年7月に開催される神通研集会の内容について話し合いました。地域の情報を持っているサークルの大切な役割である「災害」を中心に活発な意見交換ができるように組み立てていきます。

【次回定例会】

'10/1/31 (日) 13:10～15:00
県民サポートセンター 712

～サークル研究班メンバーのささやき～

今年も残すところ、あと1ヶ月。

ついこの間、おせちを食べたところなのに・・・

さて、みなさんは「おせち」は買う派?手作り派? 我が家では最近少しずつ手作り派に移行中・・・なかでもお気に入りには「たたきごぼう」&「簡単伊達巻」です。

年明けのサークルでは、手抜き主婦の私でも出来る簡単レシピの交換などいつも「おせち」話で盛り上がり、楽しいですよ。

ペンネーム TARAKO